

最新情報は goo.gl/AcVzoM にて

授業の活性化を目指した 4つの無料ソフトウェア

～円滑な教材提示と多目的な教材作成～

神谷健一（大阪工業大学）

kamiya@ip.oit.ac.jp <http://www.oit.ac.jp/ip/~kamiya/>

本日のお品書き

※ 全て自作で、無料公開しています。
goo.gl/AcVzoM からリンクを張っています。

1. 四択問題提示ツール
2. 英語不規則動詞提示ツール
3. フラッシュ型 例文・対訳提示ツール
4. Phrase Reading Worksheet 作成ツール

早速Demoから！

(まずは最初の3つのツールのみ)

1. 四択問題提示ツール
 2. 英語不規則動詞提示ツール
 3. フラッシュ型 例文・対訳提示ツール
- 2.と3.にはYouTube動画での実演紹介もあります。
→ goo.gl/b9C6vU (LET関西、2015春期研究大会)

本日のお品書き

※ 全て自作で、無料公開しています。
goo.gl/AcVzoM からリンクを張っています。

1. 四択問題提示ツール

スライド提示に中心を置いた

2. 英語不規則動詞提示ツール

教員支援ツール

3. フラッシュ型 例文・対訳提示ツール

教材作成に中心を置いた

4. Phrase Reading Worksheet 作成ツール

教員支援ツール

Demo

(そして最後のツールを紹介)

4. Phrase Reading Worksheet 作成ツール

ここで終わっても良いのですが…

(蛇足)

問題意識 (1)

- 外国語教育へのICT活用といえば「**学習者がどれだけ伸びたか**」にばかり注目されがち。
 - FLExICT (外国語教育xICT)には他の観点もあるはず。
- どれだけ授業を**活性化**させることができたか？
- 円滑に教材提示ができたか？
- 教材作成において多目的にデータが使えたか？
 - 仮説：これまで注目されなかったのは、**数値化しにくい** (=測定しにくい) から。

問題意識 (2)

教員支援ツール研究は

リサーチ・クエスチョンを立てにくい。

だから (そして) 理論化しにくい。

気がする。

問題意識 (3)

- ツール開発がこれまで行われなかったのはなぜか？
 - 単に「文系教員」のスキル不足…は脇に置いておくとして。
 - 目標設定が曖昧：教員が**楽をすることが最終目標**ではない。
 - 実はそれもありますが…大きな声では言わないことにしましょう。
 - 30分かかる活動を20分に減らすことができ、その時間を別の活動に使えるようになるなら**システムの勝ち**。
(そこに**教員支援型ICT利用の価値**があるはず。)